

自治体経営研修「特別区の課題（第3回）」

【日時】	令和3年3月8日（月）10:00～12:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	65名
【講師】	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授 蟹江 憲史氏
【研修内容】	<p><目的> 特別区が直面している課題に焦点をあて、深く掘り下げて考察し、課題解決に向けた取組に必要な知識を習得する。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ①「SDGs」の基礎知識（基本的理念・全体的枠組）、特別区で取組む意義 ②「SDGs」に関する特別区の現状と課題、それに対する取るべき方向性 ③「自治体SDGsモデル事業」に選定された成功事例の紹介 ④「SDGs」の導入方法や特別区の既存の各種計画との照合等、導入時の留意点 
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、区の基本計画を改定する中で、施策とSDGsとの紐付けを行ったが、今後、どのようにSDGsを全庁で推進したら良いか悩んでいたところだったため、とても良いタイミングの研修であった。 ・基礎知識から、他自治体の取組まで、順を追ってご講義いただき、整理することができた。 ・SDGsは世界が目指すゴールといえども、個々の企業、行政、個人が努力しなければ達成できない部分が大いと感じた。特に基礎的自治体である特別区が率先的にSDGsに取り組むことで、幅広く区民に働きかけができ、区民全体でSDGsに取り組む姿勢づくりができると考える。 ・目標の全体を達成するため、区の執行体制における連携が重要であると考えた。SDGs専担部署を立ち上げ、区として全庁体制で取り組んでいく。